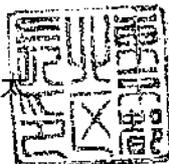


東京都北区告示第262号

東京都北区「財政事情」の作成及び公表に関する条例
(昭和23年3月東京都北区条例第3号)に基づき、令和
2年10月1日から令和3年3月31日までの本区の財政事
情を次のとおり公表する。

令和3年5月1日

東京都北区長 花川 奥 惣



目次

はじめに	1頁
1 令和3年度当初予算の概況	1頁
2 令和2年度予算の概況	5頁
3 令和2年度補正予算(下半期)	6頁
4 令和2年度歳入歳出予算の執行状況	11頁
5 区民の負担の状況	14頁
6 区の財産	14頁
7 特別区債の状況	14頁
8 一時借入金	15頁
むすび	15頁

はじめに

今回の公表対象は、地方自治法第243条の3第1項及び東京都北区「財政事情」の作成及び公表に関する条例（昭和23年3月東京都北区条例第3号）に基づき作成された令和2年10月1日から令和3年3月31日までの本区の財政状況です。

はじめに、令和3年度当初予算の概況についてお知らせします。

1 令和3年度当初予算の概況

令和3年3月に発表された政府の月例経済報告では、景気判断を、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、先行きについて、感染拡大による下振れリスクに十分注意するとともに、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があるとしており、今後も地方財政への影響が懸念されるところです。

令和3年度予算編成では、厳しい財政見通しのなか、内部努力を徹底するとともに、緊急的な財源対策を講じたほか、基金と起債の効果的な活用により、感染症対策等に万全を期しつつ、子育て支援、地域福祉の充実や教育環境の確保など、限られた資源を各分野に重点的に配分するなど、区民と共にこの困難を乗り越え、未来を切り拓く予算としています。

新型コロナウイルス感染症対策については、感染拡大防止策、経済活動・区民生活の支援、デジタル化の推進を3つの柱として、スピード感をもって取り組みます。これまで以上に医療機関への支援やPCR検査体制及び保健所機能の強化等を行うとともに、関係機関と緊密な連携や調整を図り、事業の迅速かつ円滑な実施につなげます。特にワクチン接種に向けては、区民の皆さまに安心して接種いただけるよう、北区医師会とも緊密に連携しながら、全庁を挙げて万全の体制で臨みます。また、引き続き緊急資金の融資あっせんを行うほか、感染防止のための設備投資にかかる補助制度の拡充を図るとともに、新たにテレワーク導入等に伴う就業規則の見直しに要する社会保険労務士費用の助成を行い、中小企業の事業継続を積極的に支援します。加えて、デジタル化の推進では、オンライン法律相談や経営相談を新たに実施します。また、個人住民税や国民健康保険料等のキャッシュレス決済を新たに開始し、感染症対策とともに区民の利便性の向上を図ります。さらに、区内中小店舗を対象としたキャッシュレス決済の導入を促進するため、決済端末等の導入支援を行うとともに、キャッシュレス決済ポイント還元事業を展開することで、区内のキャッシュレス化を加速度的に進めながら、経済活動の支援も展開します。

「地震・風水害に強い安全・安心なまちづくりに全力」の取組では、区民の生命・身体・財産を保護し、住民生活・経済活動への被害等を最小限とするため、事前に取り組むべき施策の方向性などを定めた「国土強靱化地域計画」を策定します。また、自力での避難が困難な方を支援するための「大規模水害避難行動支援計画」策定に着手するほか、区民の水害への関心の高まりに対応し、マイ・タイムライン普及事業を拡充します。さらに、荒川や隅田川等の洪水ハザードマップを改定するとともに、東京都が高潮氾濫危険水位を設定したことを受けて、新たに高潮浸水のハザードマップを作成します。

「長生きするなら北区が一番」の実現では、人生100年時代における健康長寿社会の実現に向け、住み慣れた地域でいつまでも元気で安心して暮らしていける北区をめざし、健康づくりへの区民一人ひとりの主体的な取組を積極的に支援します。高齢者施策では、今後のさらなる事業展開に向けて、区内全高齢者を対象とした、実態把握調査を実施します。障害者施策では、「基幹相談支援センター」を開設

し、相談体制のさらなる充実を図るほか、措置入院している精神障害者の退院後の支援について、令和4年度の本格実施に向けて、モデル実施を行います。また、子ども発達支援センターさくらんぼ園について、北区初の福祉型の児童発達支援センターに移行し、相談体制を拡充するとともに、児童発達支援サービス利用時の給食費を区独自に補助し、利用者の負担軽減を図ります。

「子育てするなら北区が一番」をより確かなものにする取組では、妊娠期から学齢期まで切れ目のない支援を充実させるため、産後デイケア事業の対象や利用回数等を大幅に拡充します。また、一時的に保育が必要となった保護者に対するベビーシッター利用支援事業を開始するほか、3歳未満の多胎児がいる世帯に対する家事・育児支援事業も開始します。さらに、私立幼稚園を利用する保護者に対して、区独自の保育料補助を拡充し、保護者負担の軽減を図ります。学校の改築では、王子第一小学校、西が丘小学校の改築工事を進めるとともに、施設一体型小中一貫校（仮称）都の北学園の整備や飛鳥中学校のリノベーション工事も着実に進めます。さらに、滝野川第四小学校のリノベーション事業に加え、谷端小学校の劣化度調査に着手します。コロナ禍にあっても、未来を担う子どもたちのために、ICTも活用した教育環境の向上を図り「教育先進都市・北区」をさらに推し進めます。

北区の新たな魅力や価値を創出する施策の展開では、まちづくりの分野について、十条駅周辺において、令和6年度の再開発ビルの竣工に向けて、公益施設の検討を進めるとともに、東京都や関係機関と連携して、十条駅付近連続立体交差事業や鉄道附属街路事業を推進します。また、交通・バリアフリーについては、コミュニティバスの令和4年度内の新規路線モデル運行に向けて、運行事業者の選定や路線の検討を進めます。魅力ある公園づくりについては、飛鳥山公園の民間活力による魅力向上のため、令和4年度のPark-PFIの導入に向け、選定する事業者との調整を進めます。また、（仮称）滝野川三丁目公園の整備を完了するとともに、（仮称）赤羽台けやき公園の暫定整備も完了し、いずれの公園にも、魅力ある公園づくりを進めるため、インクルーシブ遊具を設置します。

産業・観光振興の取組では、令和3年2月に開館した、23区初の大河ドラマ館の設置主体である大河ドラマ活用推進協議会に対し、運営経費などを補助します。また、大河ドラマ放送を機に、官と民が一体となって渋沢栄一翁のまち・北区を盛り上げ、全国に向けてPRしていきます。地域のきずなづくりについては、新型コロナウイルス感染症の影響で町会・自治会活動が自粛、縮小されているなか、感染症対策と住民活動の両立を図るため、タブレット端末の購入経費等を補助するなど、町会・自治会におけるICTの活用を支援します。環境対策では、地球環境をめぐる社会情勢の大きな変化に鑑み、現行計画の終期を待たず、脱炭素社会の実現に向けた「環境基本計画」の改定作業に着手します。このほか、コロナ禍を乗り越えた先にある、新たな時代に適合した、誰もが未来に夢と希望を持つことができる北区の将来像を定めるため、新たな「北区基本構想」の策定に着手します。

◎令和3年度財政規模

会計区分	令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	比較	対前年度 増減率
一般会計	千円 153,982,000	千円 155,630,000	千円 △1,648,000	% △1.1
国民健康保険事業会計	35,190,175	36,777,102	△1,586,927	△4.3
介護保険会計	31,594,456	34,776,159	△3,181,703	△9.1
後期高齢者医療会計	8,942,604	8,964,698	△22,094	△0.2
合計	229,709,235	236,147,959	△6,438,724	△2.7

◎一般会計当初予算
(歳入)

款	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	比較	対前年度 増減率	構成比
	千円	千円	千円	%	%
1 特別区税	29,645,000	30,541,000	△ 896,000	△ 2.9	19.2
2 地方譲与税	443,000	478,000	△ 35,000	△ 7.3	0.3
3 利子割交付金	81,000	85,000	△ 4,000	△ 4.7	0.0
4 配当割交付金	405,000	427,000	△ 22,000	△ 5.2	0.3
5 株式等譲渡所得割 交付金	442,000	239,000	203,000	84.9	0.3
6 地方消費税交付金	6,994,000	7,482,000	△ 488,000	△ 6.5	4.5
7 環境性能割交付金	102,000	115,000	△ 13,000	△ 11.3	0.1
8 地方特例交付金	281,000	268,000	13,000	4.9	0.2
9 特別区交付金	49,000,000	50,200,000	△ 1,200,000	△ 2.4	31.8
10 交通安全対策 特別交付金	20,000	21,000	△ 1,000	△ 4.8	0.0
11 ゴルフ場利用税 交付金	5,000	6,000	△ 1,000	△ 16.7	0.0
12 分担金及び負担金	2,088,545	2,092,077	△ 3,532	△ 0.2	1.4
13 使用料及び手数料	2,882,778	2,959,134	△ 76,356	△ 2.6	1.9
14 国庫支出金	29,190,712	29,188,687	2,025	0.0	19.0
15 都支出金	11,710,855	12,663,883	△ 953,028	△ 7.5	7.6
16 財産収入	237,908	110,775	127,133	114.8	0.1
17 寄付金	1	1	0	0.0	0.0
18 繰入金	10,139,625	9,247,048	892,577	9.7	6.6
19 繰越金	1,800,000	1,800,000	0	0.0	1.2
20 諸収入	3,431,576	3,582,395	△ 150,819	△ 4.2	2.2
21 特別区債	5,082,000	4,124,000	958,000	23.2	3.3
歳入合計	153,982,000	155,630,000	△ 1,648,000	△ 1.1	100.0

(歳出)

款	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	比較	対前年度 増減率	構成比
	千円	千円	千円	%	%
1 議会費	787,649	818,820	△ 31,171	△ 3.8	0.5
2 総務費	16,767,859	17,733,437	△ 965,578	△ 5.4	10.9
3 福祉費	85,808,354	86,570,496	△ 762,142	△ 0.9	55.7
4 衛生費	5,507,443	5,050,617	456,826	9.0	3.6
5 環境費	5,333,775	5,246,816	86,959	1.7	3.5
6 産業経済費	3,201,149	2,880,971	320,178	11.1	2.1
7 土木費	11,613,106	14,523,645	△ 2,910,539	△ 20.0	7.5
8 教育費	20,654,073	18,653,202	2,000,871	10.7	13.4
9 公債費	3,295,275	3,586,798	△ 291,523	△ 8.1	2.1
10 諸支出金	713,317	365,198	348,119	95.3	0.5
11 予備費	300,000	200,000	100,000	50.0	0.2
歳出合計	153,982,000	155,630,000	△ 1,648,000	△ 1.1	100.0

2 令和2年度予算の概況

令和2年度は、「区民とともに」の基本姿勢のもと、喫緊の課題への対応を図るとともに、10年後の北区のあるべき将来を見据え、「北区基本計画2020」に掲げた内容との整合を図り、また効果的な基金と起債の活用により、一定の財源を確保した上で、2つの最重要課題と3つの優先課題を中心に限られた資源を各分野に重点的・効率的に配分しました。

「地震・風水害に強い安全・安心なまちづくりに全力」の取組では、「大規模水害避難行動計画」策定に向け、「大規模水害を想定した避難行動の基本方針」を公表したほか、台風シーズン到来前に、水害情報の収集方法、避難場所や避難する際の留意点など、水害対策の基本的な考え方について情報発信を行いました。

「長生きするなら北区が一番」の実現では、高齢者の就労と社会参加につながるいきがづくりを支援するため、「いきがい活動センター」を設置しました。

「子育てするなら北区が一番」をより確かなものにする取組では、学校給食費について、令和2年10月分から第2子には半額、第3子以降には全額を補助し、保護者負担の軽減を図りました。教育分野では、学力フォローアップ教室の小学校5・6年生への全校実施の拡大により、小学校3年生から中学生まで連続した学習支援環境を整備したほか、英語検定の受験を促進するため、検定料の全額補助を拡充しました。また、「小・中学校長寿命化計画」に基づき、リノベーション（長寿命化改修）や改築を計画的に推進し、ソフト・ハードの両面から、教育環境のさらなる充実をめざしました。

また、令和2年度は、施策の推進のほか新型コロナウイルス感染症拡大への対応を図るため、7回の補正を行いました。

5月補正では、特別定額給付金給付事業費の計上などの補正を行いました。6月補正では、GIGAスクール構想事業費の計上などの補正を行いました。7月補正では、ひとり親世帯臨時特別給付金事業費の計上などの補正を行いました。9月補正では、仮称区営シルバーピア栄町用地取得費の計上などの補正を行いました。11月補正では、在宅要介護者受入体制整備事業費の計上などの補正を行いました。12月補正では、ひとり親世帯臨時特別給付金事業費の増額の補正を行いました。2月補正では、新型コロナウイルスワクチン接種関係費の計上などの補正を行いました。

◎令和2年度最終予算額

会 計 区 分	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	計(最終予算額)
一 般 会 計	155,630,000 ^{千円}	39,097,306 ^{千円}	194,727,306 ^{千円}
国民健康保険事業会計	36,777,102	△ 1,215,751	35,561,351
介護保険会計	34,776,159	2,019,519	36,795,678
後期高齢者医療会計	8,964,698	89,226	9,053,924
合 計	236,147,959	39,990,300	276,138,259

今回はこれらの補正予算のうち、11月の第4回定例会、12月の第3回臨時会、2月の第1回定例会で議決された補正予算のあらましをお知らせします。なお、補正予算の議決は、第4回定例会が12月4日、第3回臨時会が12月14日、第1回定例会が3月4日です。

3 令和2年度補正予算（下半期）

1 一般会計（主要事業）

（1）補正予算第5号（11月）

○庁舎営繕費（増額）	1,606千円
○庁舎管理費（増額）	83,353千円
○住民基本台帳事務費（増額）	1,928千円
○高齢福祉課事務費（増額）	1,000千円
○在宅要介護者受入体制整備事業費（高齢者福祉費）	5,000千円
○在宅要介護者受入体制整備事業費（障害者福祉費）	2,000千円
○放課後子ども総合プラン推進事業費（増額）	14,700千円
○新型コロナウイルス対策費（増額）	20,000千円
○公園等維持管理費（増額）	500千円
○一人ぐらし高齢者アパート管理費（増額）	651千円
○埋蔵文化財発掘調査事業費（増額）	13,310千円

（2）補正予算第6号（12月）

○ひとり親世帯臨時特別給付金事業費（増額）	142,470千円
-----------------------	-----------

（3）補正予算第7号（2月）

○新型コロナウイルス対策費（増額）	200,000千円
○新型コロナウイルスワクチン接種関係費	2,011,877千円
○区内店舗キャッシュレス決済促進事業費	220,000千円
○「北区学校改築等基金」積立金（増額）	312,648千円
○特別定額給付金給付事業費（減額）	△324,300千円
○生活保護法に基づく保護費（減額）	△372,167千円
○中小企業金融対策費（減額）	△846,028千円
○十条駅西口市街地再開発促進事業費（減額）	△379,270千円
○校地取得費（減額）	△514,811千円
○仮称都の北学園建設費（減額）	△611,982千円
○職員給与費等（減額）	△128,000千円
○各種事業費補正（増額分及び減額分を相殺）	△4,291,118千円

(4) 補正予算第5号(11月)・6号(12月)・7号(2月)の概要
(歳入)

款	前期までの 予算額	補正予算額 (第5号)11月	補正予算額 (第6号)12月	補正予算額 (第7号)2月	予算額計	構成比
	千円	千円	千円	千円	千円	%
1 特別区税	30,541,000	0	0	326,000	30,867,000	15.9
2 地方譲与税	478,000	0	0	△ 26,000	452,000	0.2
3 利子割交付金	85,000	0	0	0	85,000	0.0
4 配当割交付金	427,000	0	0	0	427,000	0.2
5 株式等譲渡所得割 交付金	239,000	0	0	0	239,000	0.1
6 地方消費税交付金	7,482,000	0	0	△ 374,000	7,108,000	3.7
7 環境性能割交付金	115,000	0	0	0	115,000	0.1
8 地方特例交付金	268,000	0	0	10,158	278,158	0.1
9 特別区交付金	50,200,000	0	0	9,093	50,209,093	25.8
10 交通安全対策 特別交付金	21,000	0	0	0	21,000	0.0
11 ゴルフ場利用税 交付金	6,000	0	0	0	6,000	0.0
12 分担金及び負担金	2,092,077	0	0	△ 331,448	1,760,629	0.9
13 使用料及び手数料	2,959,134	0	0	△ 79,251	2,879,883	1.5
14 国庫支出金	66,780,092	15,000	142,470	1,309,902	68,247,464	35.0
15 都支出金	13,910,149	7,000	0	859,679	14,776,828	7.6
16 財産収入	110,775	0	0	311,745	422,520	0.2
17 寄付金	10,201	1,500	0	11,169	22,870	0.0
18 繰入金	13,583,921	125,740	0	△ 5,907,774	7,801,887	4.0
19 繰越金	2,141,503	0	0	0	2,141,503	1.1
20 諸収入	3,584,895	0	0	△ 168,424	3,416,471	1.8
21 特別区債	4,124,000	0	0	△ 674,000	3,450,000	1.8
歳入合計	199,158,747	149,240	142,470	△ 4,723,151	194,727,306	100.0

(歳出)

款	前期までの 予算額	補正予算額 (第5号) 11月	補正予算額 (第6号) 12月	補正予算額 (第7号) 2月	予算額計	構成比
	千円	千円	千円	千円	千円	%
1 議会費	818,820	0	0	△ 3,000	815,820	0.4
2 総務費	54,512,678	86,887	0	△ 652,837	53,946,728	27.7
3 福祉費	89,535,338	27,892	142,470	△ 2,000,795	87,704,905	45.0
4 衛生費	5,605,241	20,000	0	2,103,779	7,729,020	4.0
5 環境費	5,227,168	0	0	△ 8,000	5,219,168	2.7
6 産業経済費	4,258,422	0	0	△ 777,484	3,480,938	1.8
7 土木費	15,525,071	1,151	0	△ 1,781,751	13,744,471	7.1
8 教育費	19,224,013	13,310	0	△ 2,060,748	17,176,575	8.8
9 公債費	3,586,798	0	0	0	3,586,798	1.8
10 諸支出金	365,198	0	0	457,685	822,883	0.4
11 予備費	500,000	0	0	0	500,000	0.3
歳出合計	199,158,747	149,240	142,470	△ 4,723,151	194,727,306	100.0

(5) 繰越明許費

令和2年度から3年度に繰り越して使用できるものと定めた事業及び限度額は下表のとおりです。

款	事業名	限度額
総務費		千円 27,746
	備蓄物資購入	17,000
	大規模水害避難対策	10,746
衛生費		2,172,952
	新型コロナウイルス対策	200,000
	新型コロナウイルスワクチン接種関係	1,972,952
産業経済費		220,000
	区内店舗キャッシュレス決済促進事業	220,000
土木費		124,748
	街灯, 橋梁灯補修	13,687
	赤羽駅周辺まちづくり推進	13,200
	赤羽一丁目市街地再開発促進事業	77,200
	用途地域等改定事業	20,661

2 特別会計（主要事業）

(1) 補正予算（11月）

◎介護保険会計

○一般管理事務費（増額） 10,384千円

(2) 補正予算（2月）

◎国民健康保険事業会計

○一般被保険者療養給付費（減額） $\Delta 1,525,328$ 千円

○保険給付費等交付金償還金（増額） 241,186千円

○一般会計繰出金（増額） 444,113千円

◎介護保険会計

○介護予防通所型サービス費（減額） $\Delta 64,182$ 千円

○一般会計繰出金（増額） 53,068千円

◎後期高齢者医療会計

○広域連合分賦金（減額） $\Delta 131,415$ 千円

(3) 補正予算(11、2月)の概要

会計区分	前期までの 予算額	補正予算額 11月	補正予算額 2月	予算額計
国民健康保険 事業会計	千円 36,843,186	千円 0	千円 $\Delta 1,281,835$	千円 35,561,351
介護保険会計	36,891,014	10,384	$\Delta 105,720$	36,795,678
後期高齢者 医療会計	9,184,633	0	$\Delta 130,709$	9,053,924

4 令和2年度歳入歳出予算の執行状況

令和2年度における収支の状況は、下表のとおりです。

(収 入)

(令和3年3月31日現在)

会 計 区 分	予 算 現 額 (A)	収 入 済 額 (B)	差引過△不足額 (B - A)	収 入 率 (B/A×100)
一 般 会 計	千円 194,849,330	千円 182,988,358	千円 △ 11,860,972	% 93.9
国民健康保険事業会計	35,561,351	32,647,213	△ 2,914,138	91.8
介 護 保 険 会 計	36,795,678	32,475,275	△ 4,320,403	88.3
後期高齢者医療会計	9,053,924	8,667,058	△ 386,866	95.7

(支 出)

(令和3年3月31日現在)

会 計 区 分	予 算 現 額 (A)	支 出 済 額 (B)	予 算 残 額 (A - B)	執 行 率 (B/A×100)
一 般 会 計	千円 194,849,330	千円 170,116,165	千円 24,733,165	% 87.3
国民健康保険事業会計	35,561,351	32,936,760	2,624,591	92.6
介 護 保 険 会 計	36,795,678	28,906,846	7,888,832	78.6
後期高齢者医療会計	9,053,924	8,603,228	450,696	95.0

※収入、支出ともに、「予算現額(A)」欄の金額には、令和元年度からの繰越額が含まれています。一般会計には繰越明許費等1億2,202万4千円が含まれています。

※「収入済額(B)」欄と「支出済額(B)」欄の金額は令和3年3月31日現在のもので、出納整理期間(令和3年4月1日～5月31日)の金額は含まれません。そのため、最終的な決算額とは異なります。

◎一般会計収支状況（款別）

（収 入）

（令和3年3月31日現在）

款	予算現額 (A)	収入済額 (B)	差引過△不足額 (B-A)	収 入 率 (B/A×100)
	千円	千円	千円	%
1 特 別 区 税	30,867,000	28,591,397	△ 2,275,603	92.6
2 地 方 譲 与 税	452,000	472,069	20,069	104.4
3 利 子 割 交 付 金	85,000	84,909	△ 91	99.9
4 配 当 割 交 付 金	427,000	410,632	△ 16,368	96.2
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	239,000	478,185	239,185	200.1
6 地 方 消 費 税 交 付 金	7,108,000	7,327,957	219,957	103.1
7 環 境 性 能 割 交 付 金	115,000	82,339	△ 32,661	71.6
8 地 方 特 例 交 付 金	278,158	278,158	0	100.0
9 特 別 区 交 付 金	50,209,093	50,914,870	705,777	101.4
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	21,000	26,769	5,769	127.5
11 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	6,000	8,853	2,853	147.5
12 分 担 金 及 び 負 担 金	1,760,629	1,585,529	△ 175,100	90.1
13 使 用 料 及 び 手 数 料	2,879,883	2,540,433	△ 339,450	88.2
14 国 庫 支 出 金	68,257,564	64,841,054	△ 3,416,510	95.0
15 都 支 出 金	14,791,908	12,312,907	△ 2,479,001	83.2
16 財 産 収 入	422,520	107,515	△ 315,005	25.4
17 寄 付 金	22,870	23,832	962	104.2
18 繰 入 金	7,801,887	6,813,676	△ 988,211	87.3
19 繰 越 金	2,238,347	2,238,347	0	100.0
20 諸 収 入	3,416,471	3,044,727	△ 371,744	89.1
21 特 別 区 債	3,450,000	804,200	△ 2,645,800	23.3
収 入 合 計	194,849,330	182,988,358	△ 11,860,972	93.9

※本表には令和元年度からの繰越明許費等1億2,202万4千円が含まれています。

(支 出)

(令和3年3月31日現在)

款	予算現額 (A)	支出済額 (B)	予算残額 (A-B)	執行率 (B/A×100)
	千円	千円	千円	%
1 議 会 費	815,820	779,549	36,271	95.6
2 総 務 費	53,987,697	49,213,208	4,774,489	91.2
3 福 祉 費	87,782,015	79,529,097	8,252,918	90.6
4 衛 生 費	7,811,297	4,506,994	3,304,303	57.7
5 環 境 費	5,219,168	4,768,303	450,865	91.4
6 産 業 経 済 費	3,525,167	2,979,039	546,128	84.5
7 土 木 費	13,823,624	10,167,124	3,656,500	73.5
8 教 育 費	17,324,329	13,883,554	3,440,775	80.1
9 公 債 費	3,586,798	3,467,208	119,590	96.7
10 諸 支 出 金	822,883	822,089	794	99.9
11 予 備 費	150,532	0	150,532	0.0
支 出 合 計	194,849,330	170,116,165	24,733,165	87.3

※本表には令和元年度からの繰越明許費等1億2,202万4千円が含まれています。

5 区民の負担の状況

令和3年3月31日現在の特別区民税（現年課税分）の調定額は、約288億3,001万円です。これを区民1人あたり及び1世帯あたりにしますと下記のようになります。

1人あたり	81,755円
1世帯あたり	144,518円

令和3年4月1日現在の住民基本台帳人口と世帯数

総人口	352,638人
世帯数	199,491世帯

6 区 の 財 産

区民の皆さまが利用する公園、学校、保育園、図書館、区民センターなどの土地、建物や有価証券など区の財産は下表のとおりです。

(令和3年3月31日現在)

種 別	数 量
土 地	1,228,182m ²
建 物	713,439m ²
権 利 等	1,646m ²
株 券 等	108株
出資による権利	12件

7 特別区債の状況

学校の改築や区民センターなどの施設建設、公園の用地取得などは一時に多額の費用を必要とします。これらの施設は、区民の皆さまが長期にわたって利用するものです。そこで、毎年度の財政負担をならし、その費用を将来の区民の皆さまにも負担して頂くという考えのもと、国や民間からの資金を長期に借り入れることがあります。これを「特別区債」といいます。

特別区債の現在高は、下表のとおりです。

令和元年度末 現在高 (A)	令和2年度 発行見込額 (B)	令和2年度償還見込額			令和2年度末 現在高見込額 (A+B-C)
		元金(C)	利子	計	
千円 27,884,671	千円 3,450,000	千円 3,351,174	千円 115,985	千円 3,467,159	千円 27,983,497

8 一 時 借 入 金

区の事業を行う際に、一時的に収入と支出のバランスがくずれ、区の現金が不足することがあります。この場合、年度内に返済することを条件に、金融機関などから短期的に現金を借り入れて、事業を執行していきます。これを「一時借入金」といいますが、今期は借入を行う必要がありませんでした。

む す び

以上、令和3年度当初予算の概況と令和2年度下半期における本区の財政状況について、ご説明しました。

令和3年度における区政をとりまく財政状況を見回すと、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、先行きについて、感染拡大による下振れリスクに十分注意するとともに、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。今後も地方財政への影響が懸念されるところです。

こうした状況を踏まえつつ、今後とも効率的な行財政運営を基本に健全財政を維持し、施策の充実に努めてまいります。

区民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。